



# 2023年3月期第1四半期 決算概要について

日精樹脂工業株式会社  
2022年8月

NISSEI PLASTIC INDUSTRIAL CO., LTD.

## 2023年3月期第1四半期 業績の概要

---

## 2023年3月期第1四半期 連結経営成績

単位:百万円 ( )内前期比

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株 当 たり 純 利 益
2023年3月期 第1四半期	12,058 (8.3%)	868 (47.9%)	1,121 (73.6%)	809 (△33.5%)	41.49円
2022年3月期 第1四半期	11,138 (26.0%)	587 (一)	646 (273.6%)	1,216 (一)	62.38円

### 売上

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響によりアジア地域で停滞が見られたものの、国内・北米では需要が回復基調に推移したこと等から、売上高は前年同四半期比8.3%増の120億5千8百万円となりました。

### 利益

- ・ 主力である射出成形機の需要が堅調に推移したこと等から営業利益は8億6千8百万円(前年同四半期比47.9%増)となった。この結果、経常利益は11億2千1百万円(前年同四半期比73.6%増)、四半期純利益は8億9百万円(同33.5%減)となった。

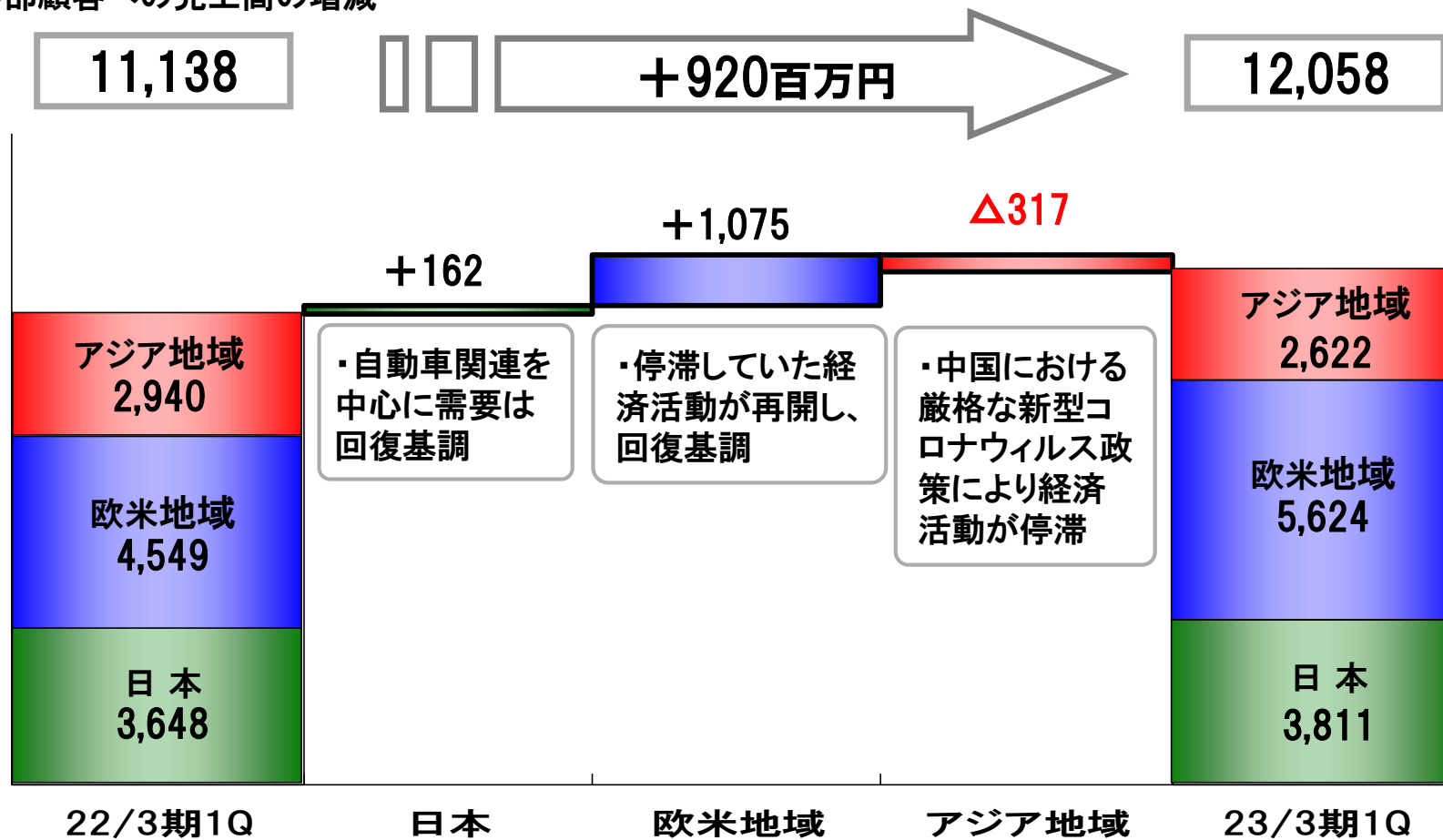
## 連結業績概要【前年同期比】

単位：百万円、比率％

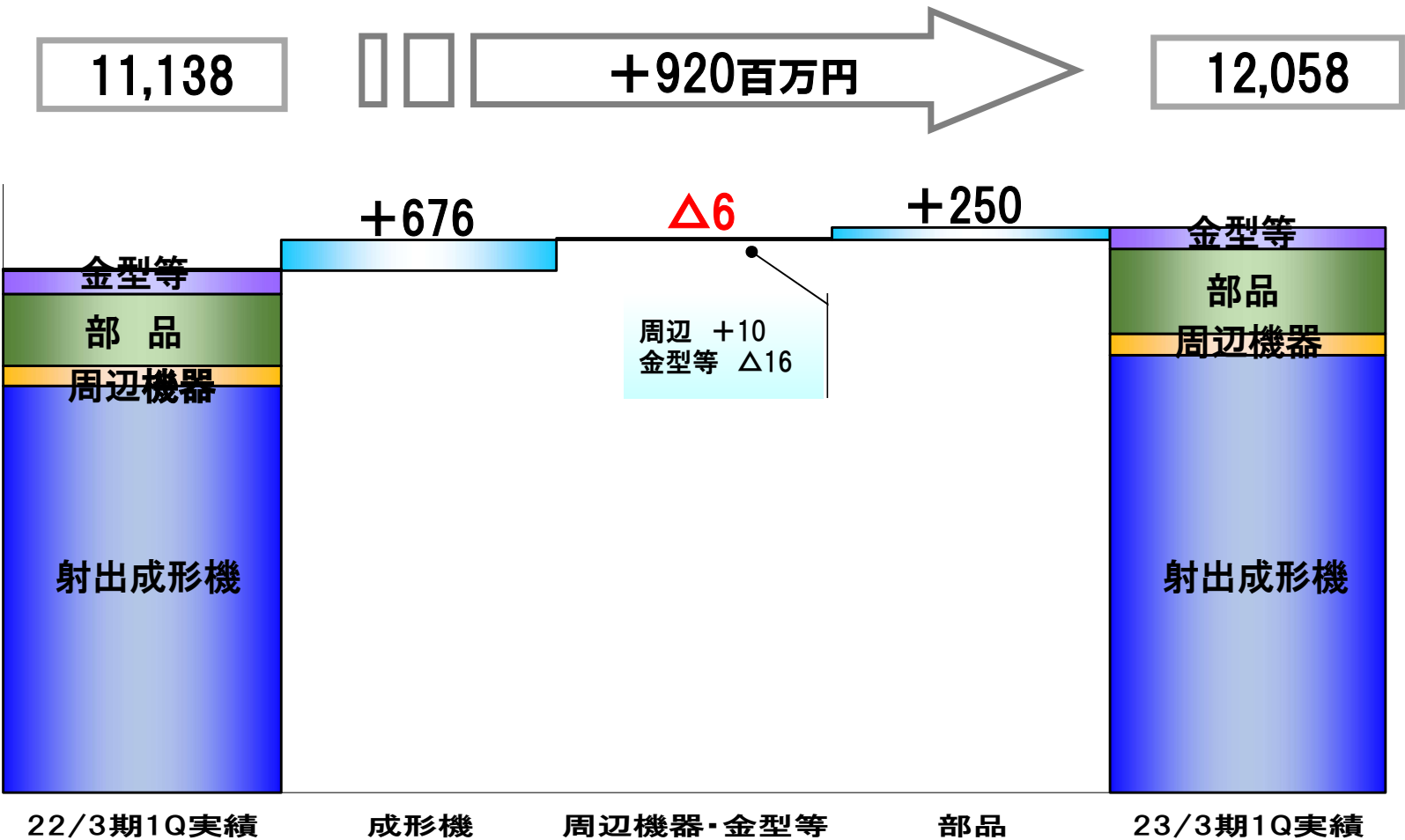
	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	8,676	9,353	676	7.8
周辺機器	456	466	10	2.2
部品	1,535	1,784	250	16.3
金型等	471	455	△16	△3.3
売上高合計	11,138	12,058	920	8.3
売上総利益	3,368	3,899	530	15.8
一般管理販売費	2,781	3,031	249	9.0
営業利益	587	868	281	47.9
経常利益	646	1,121	475	73.6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,216	809	△407	△33.5

# 連結売上高(セグメント別)増減 [2022/3期1Q⇒2023/3期1Q]

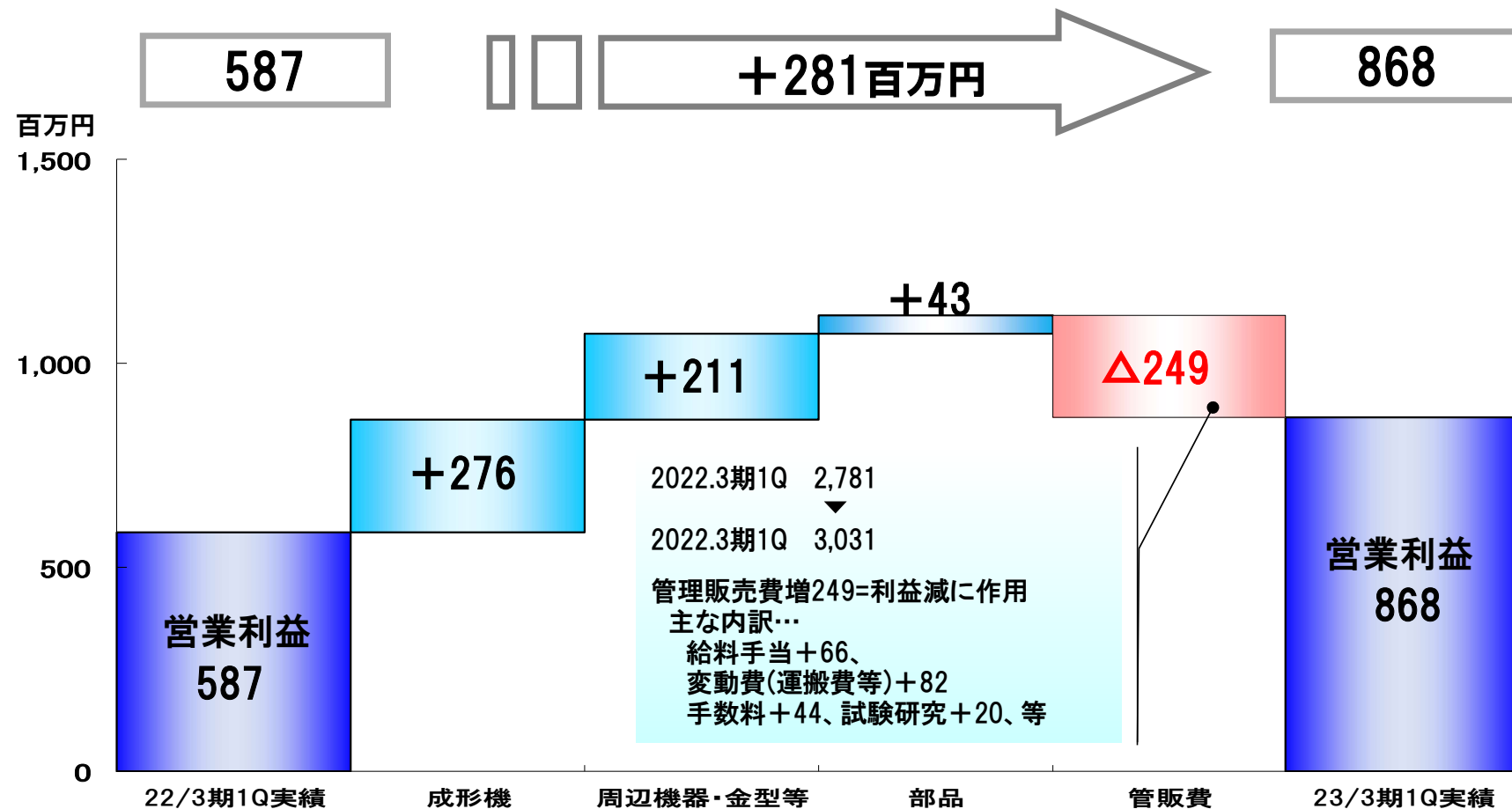
外部顧客への売上高の増減



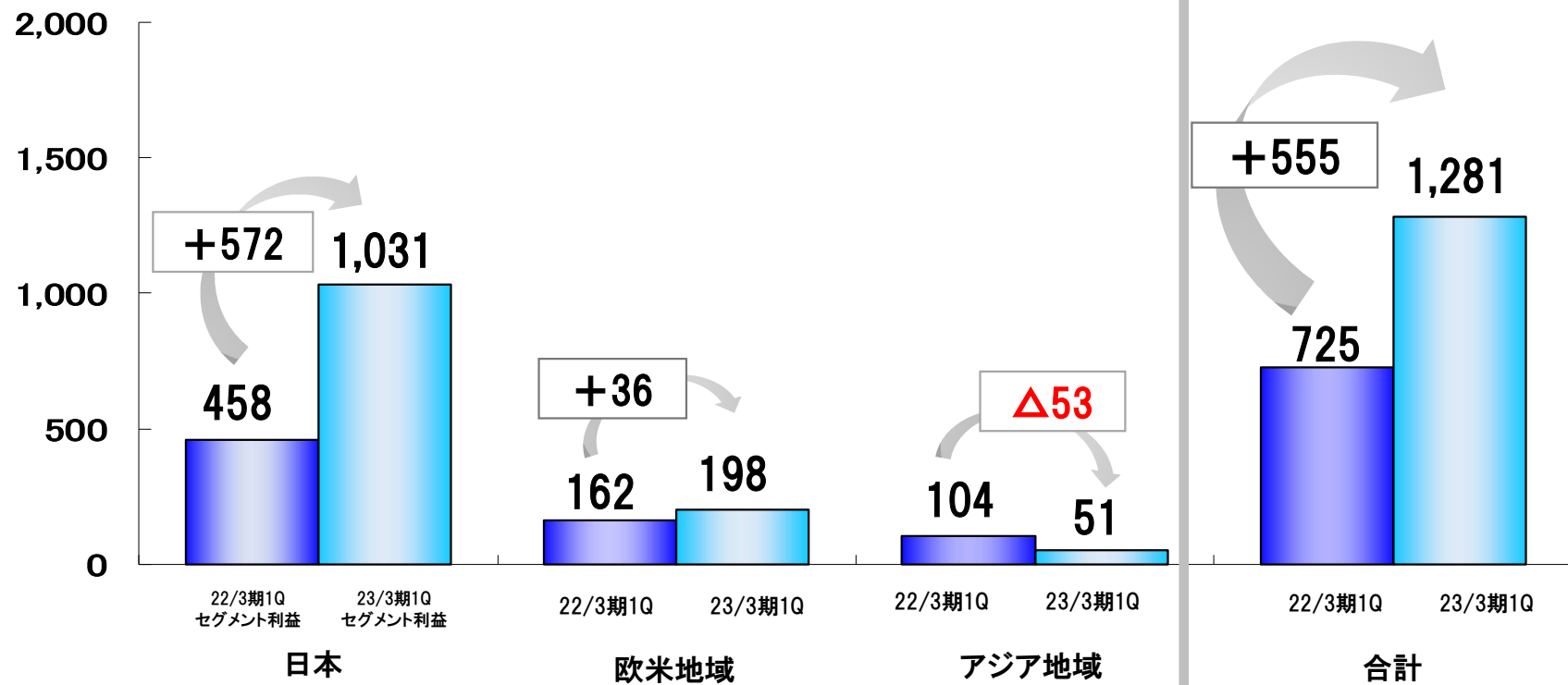
連結売上高(製品別)増減 [2022/3期1Q⇒2023/3期1Q]



# 連結営業利益(製品別)増減 [2022/3期1Q⇒2023/3期1Q]

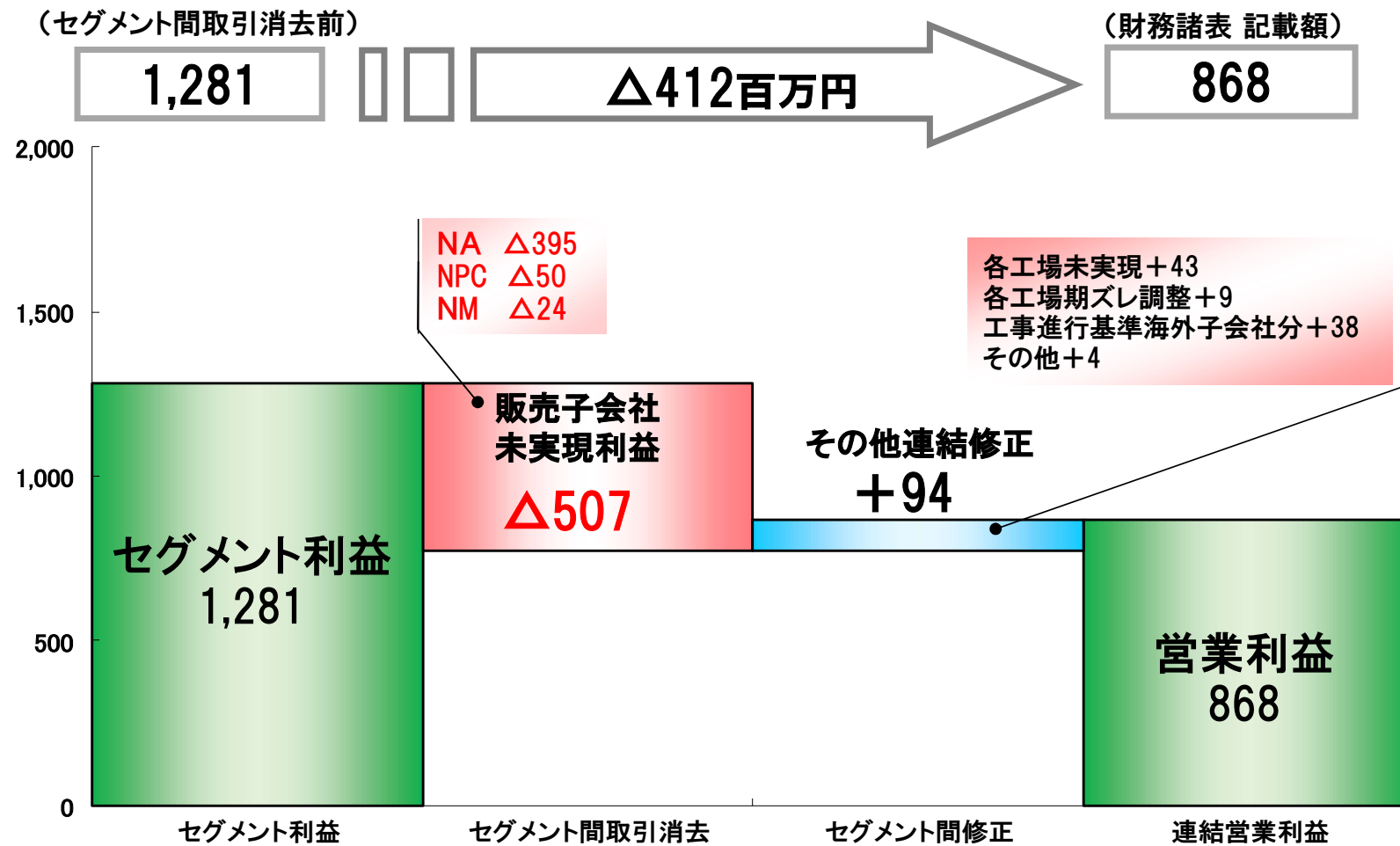


# 連結営業利益(セグメント別)増減 [2022/3期1Q⇒2023/3期1Q]



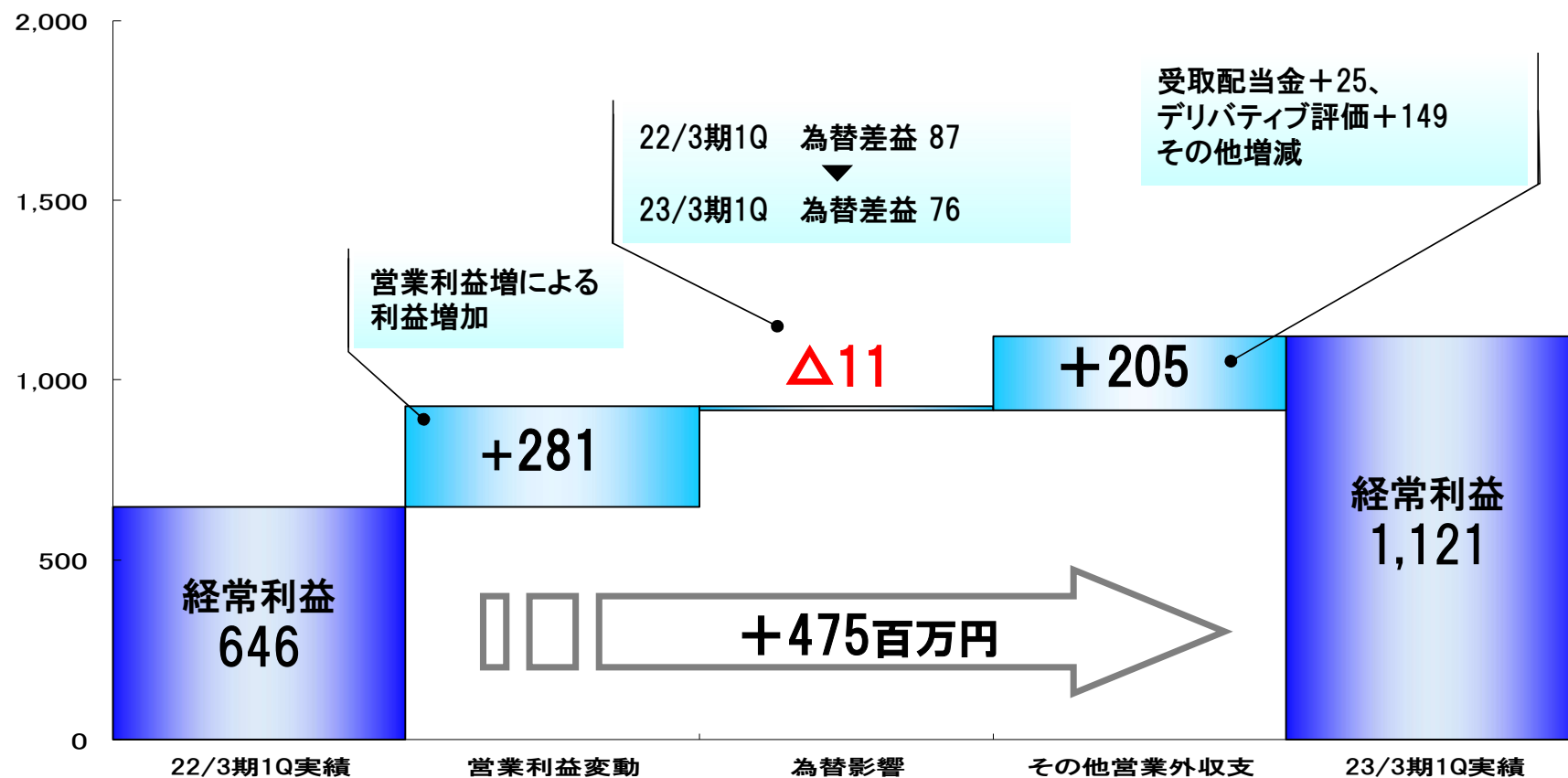


## 連結営業利益 ～セグメント間取引消去



## 連結経常利益の増減 [2022/3期1Q⇒2023/3期1Q]

\$ 円レート: 期初 ￥122.39⇒6/末 ￥136.68  
元 円レート: 1/初 ￥18.06⇒3/末 ￥19.26

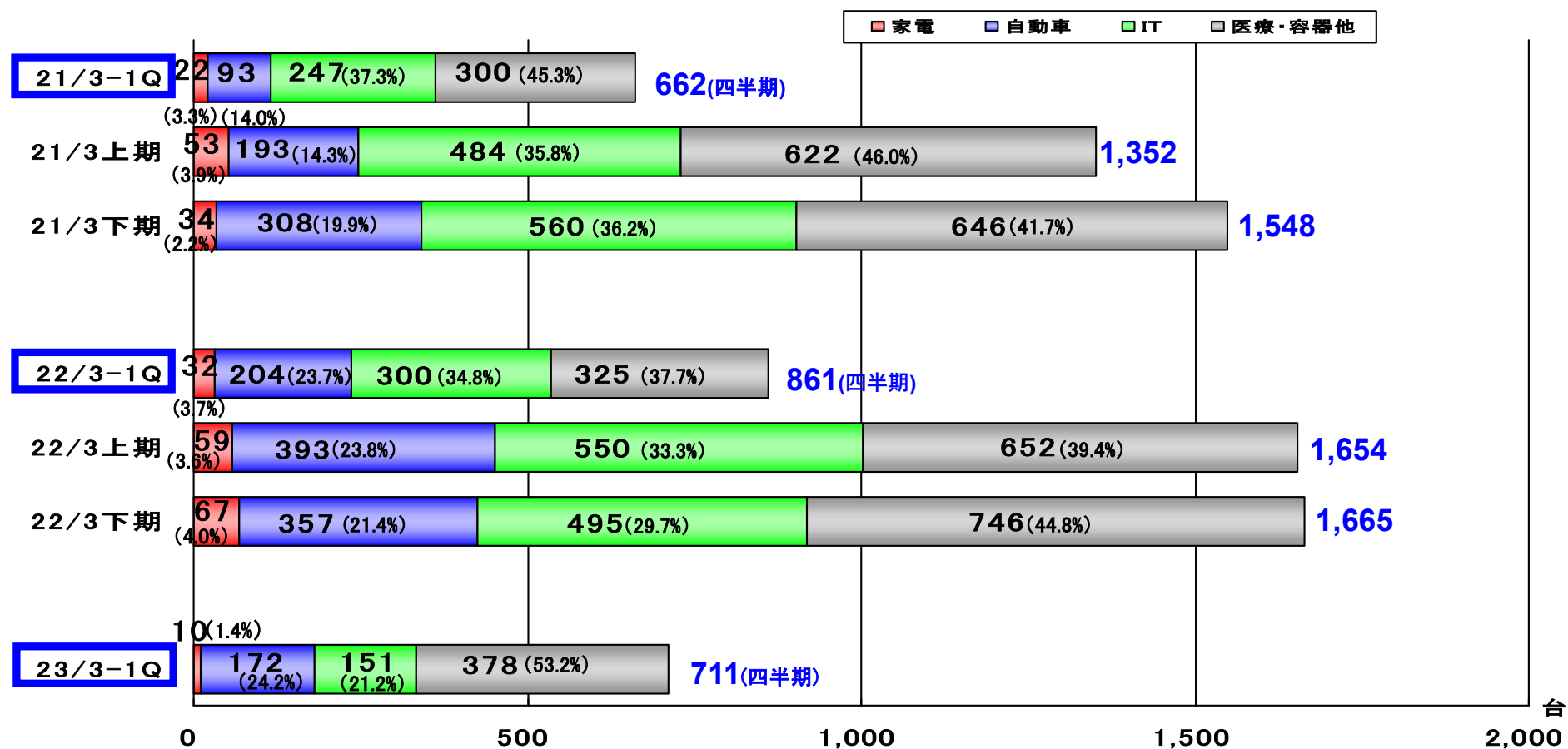


## 射出成形機の需要先別出荷台数推移（当社）

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、  
出荷の大半を占めている。

2022/3期1Q

- 自動車…国内横ばい、海外堅調
- IT…東アジア中心に大きく減少
- 医療・容器他…特に国内で雑貨が堅調、医療・容器横ばい

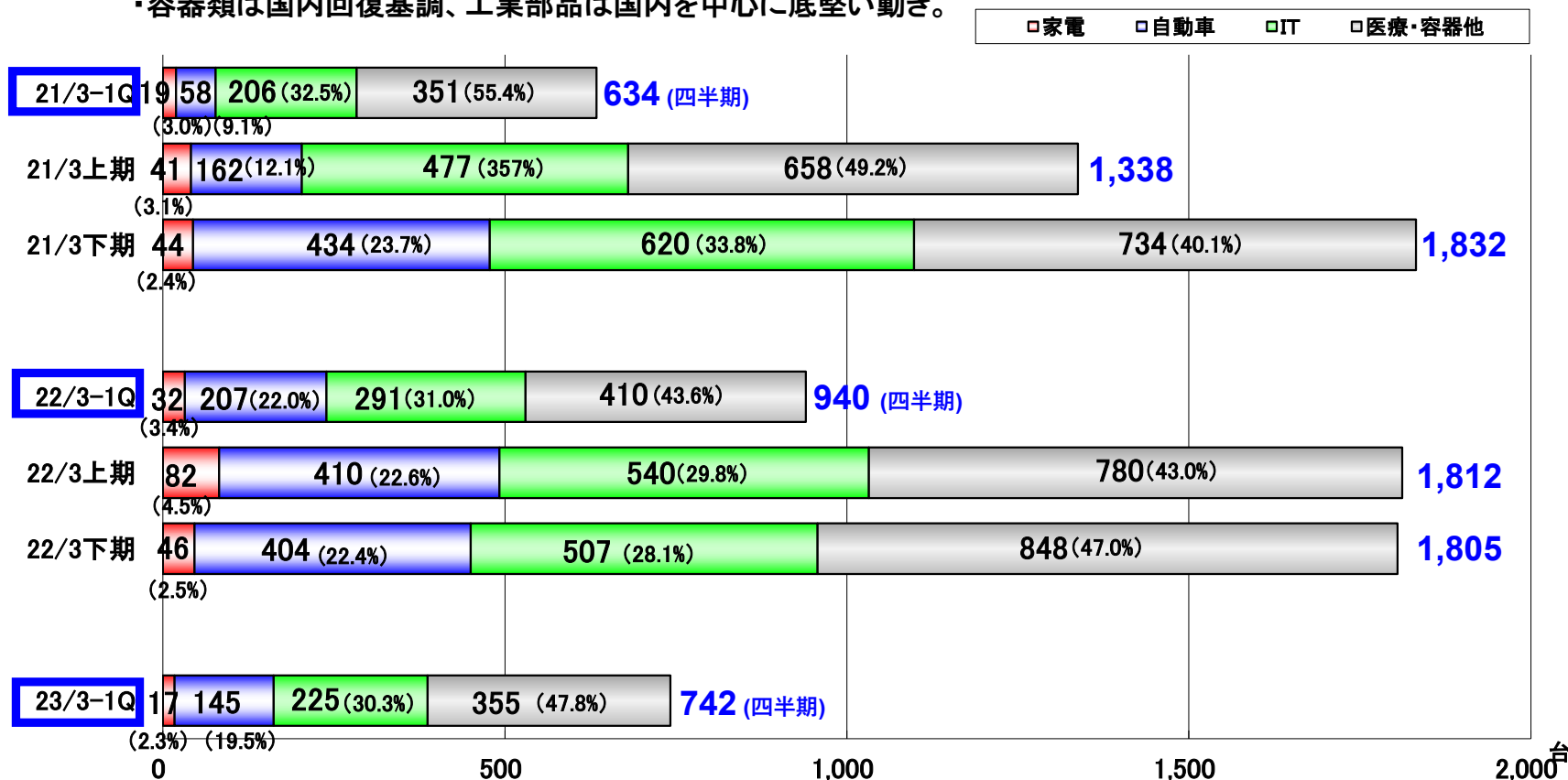


## 射出成形機の受注推移

---

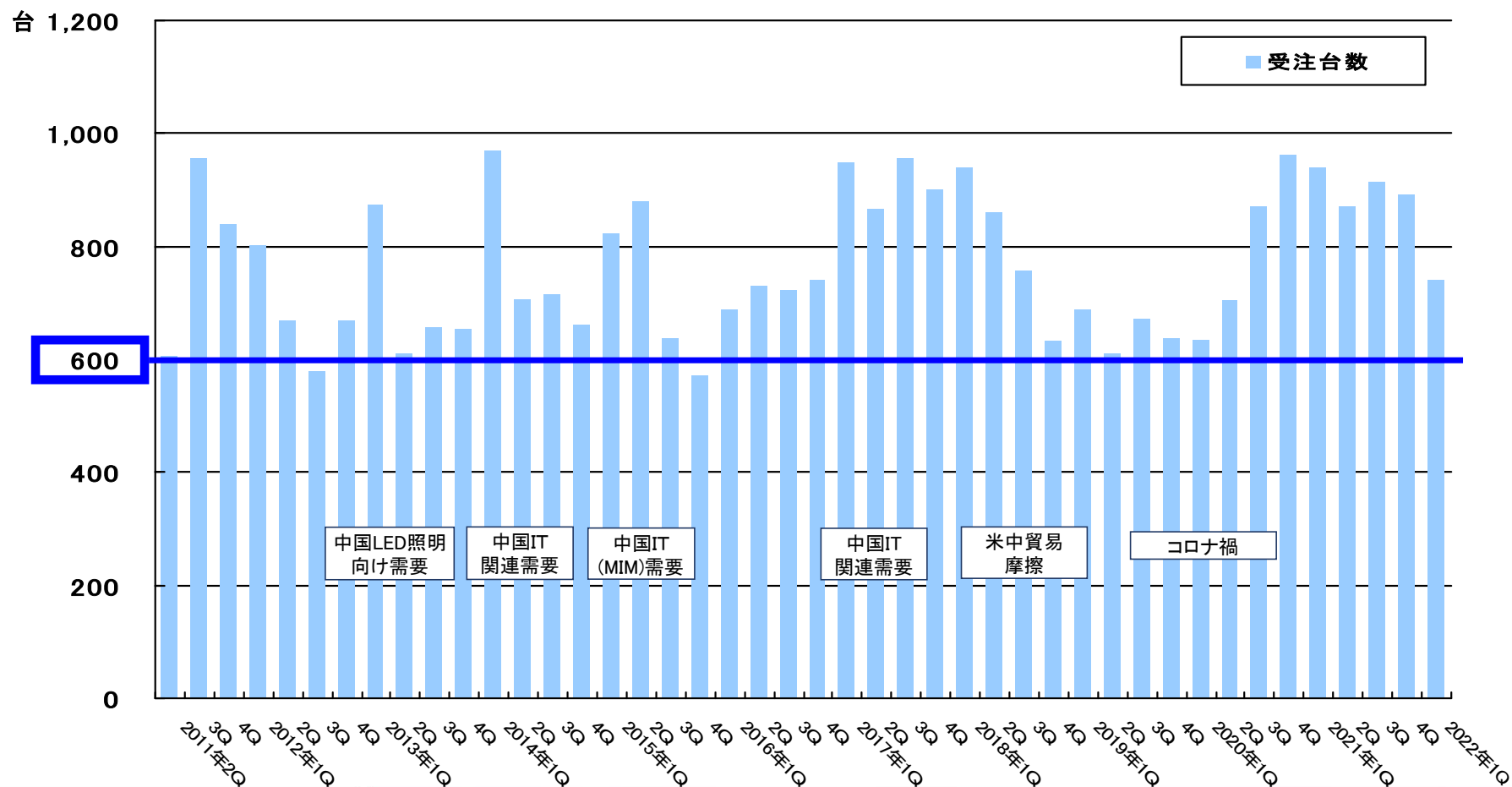
## 射出成形機の需要先別受注台数推移 (当社)

- ・23/3期1Qの受注台数は742台。前年同期比21.1%減。
- ・自動車は国内横ばい、海外は堅調に推移。
- ・IT関連は東アジア向けを中心に若干停滞。
- ・容器類は国内回復基調、工業部品は国内を中心に底堅い動き。



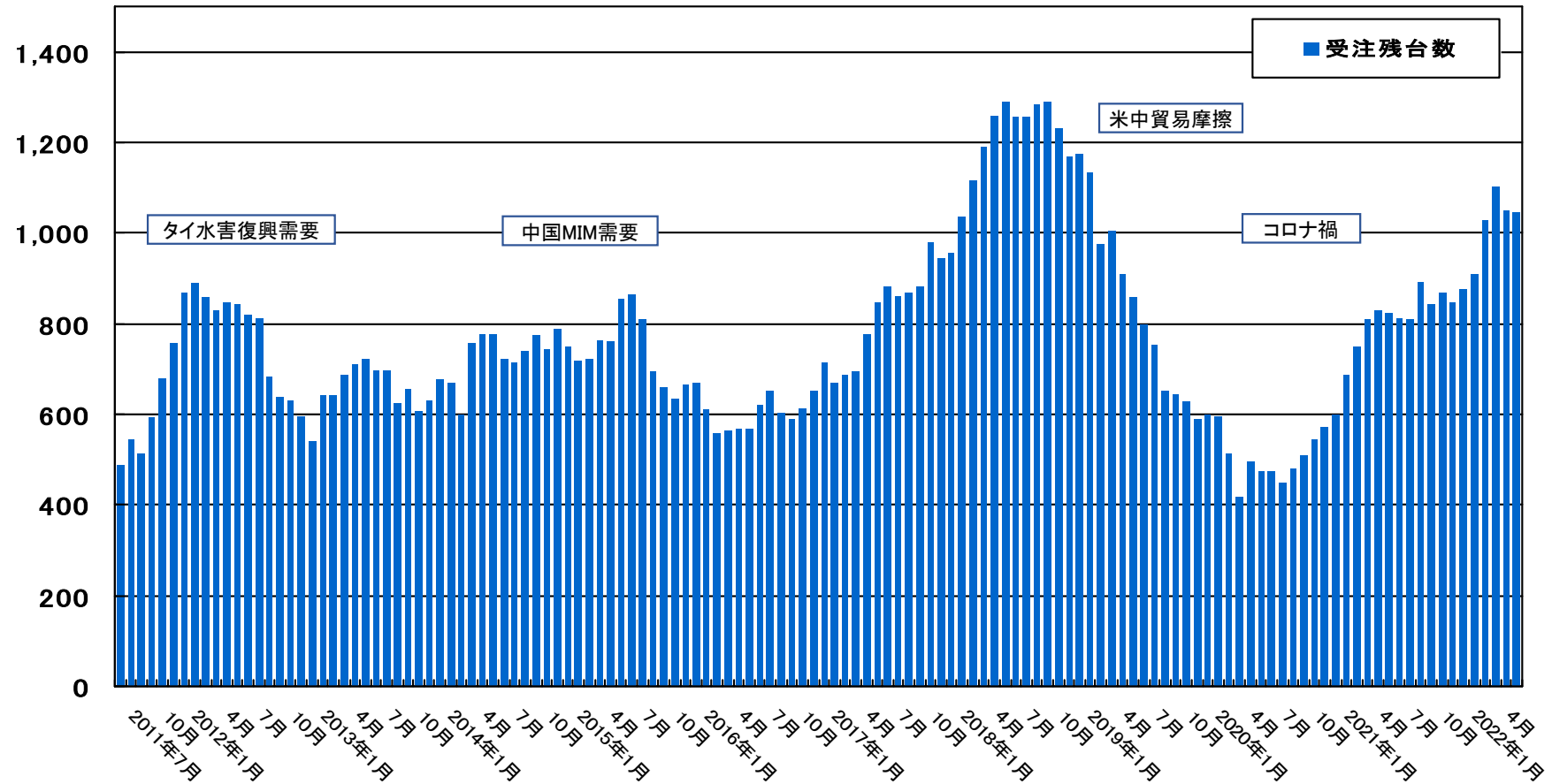
## 射出成形機の受注台数推移（当社）

2020年1Qを底にして四半期ごとの受注推移は増加に転じている。  
直近1Qは若干停滞したが目安となる600台以上を確保。



## 射出成形機の受注残台数推移（当社）

新型コロナの影響により減速したが、2020年8月頃を境に増加に転じている。  
国内外で自動車関連需要や東アジアを中心にIT需要が堅調に推移し、受注が積み増している状態



## 2023年3月期計画について

---



## 経営方針

1. 真のグローバル経営の強化
2. グローバル市場への積極的展開による  
営業強化
3. グローバル生産体制の強化
4. グローバルリスク管理体制の強化

## 2023年3月期上期 連結損益計画

単位：百万円、比率%

	2023年3月期	2023年3月期 連結計画	
	1Q実績	上期計画	達成率%
売上高	12,058	23,000	52.4%
営業利益	868	1,380	62.9%
(利益率)	7.2	6.0	—
経常利益	1,121	1,450	77.3%
(利益率)	9.3	6.3	—
当期純利益	809	900	89.9%
(利益率)	6.7	3.9	—
販売台数	733	1,371	53.5%
生産台数	624	2,132	29.3%

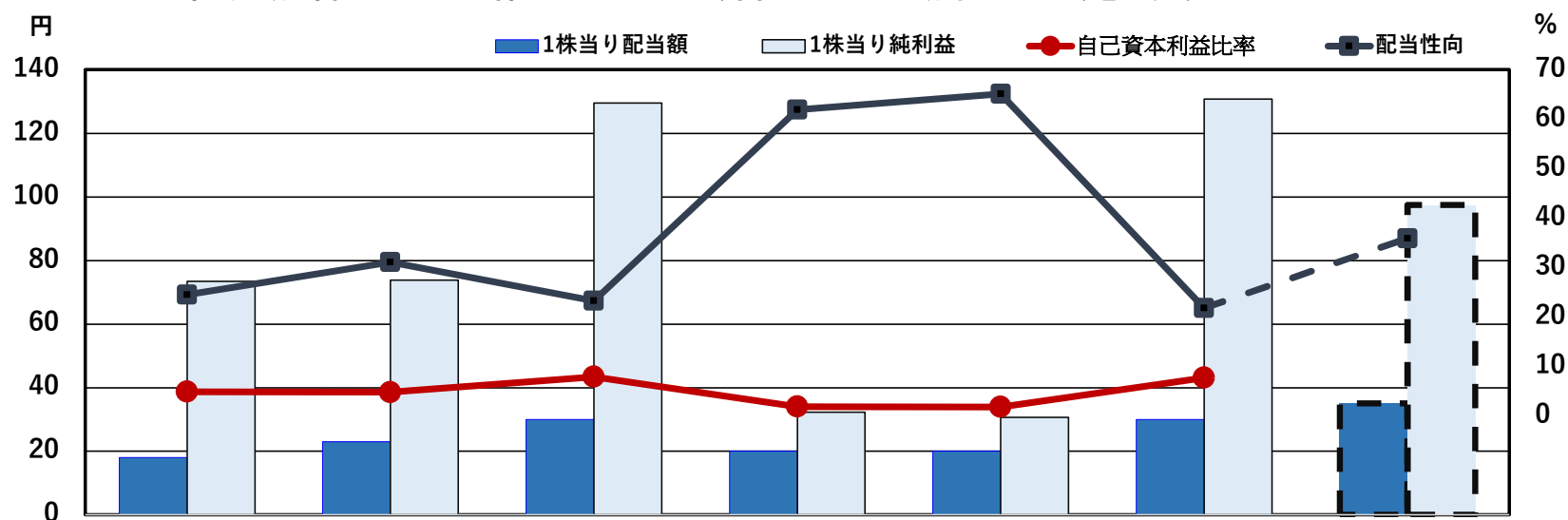
## 連結設備投資・研究開発計画

百万円	
	2023年3月期 1Q実績
主な設備等	本社
	第7工場塗装ブース、給排気フィルタ設置 4
	米国工場増築(手付金 建設仮勘定) 581
	ホム設置、五面加工機レトロフィット追加工事 60
	その他、維持投資等 91
設備投資総額	736
本社出資	
減価償却費	360
研究開発費	108

## 配当について

### 年間配当金／配当性向(連結)の推移

・ 2023年3月期 年間配当は、1株につき35.00円(中間20.00円、期末15.00円)を予定。



	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期(予想)
1株当り純利益	73.85円	129.56円	32.30円	30.71円	137.43円	97.42(予)
1株当り配当額	23.00円	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円(予)
中間配当	13.00円	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円(予)
期末配当	10.00円	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円(予)
配当性向	31.1%	23.2%	61.9%	65.1%	21.8%	35.9%(予)
自己資本利益率	4.8%	7.9%	1.9%	1.8%	7.7%	—

# トピックス

---

## 監査等委員会設置会社への移行

2022年6月開催した第66期定時株主総会において承認されたことを受け  
当社は、『監査等委員会設置会社』へ移行しました。 2022.6.24

### <移行前>

#### 監査役会設置会社

- ◆ 取締役任期2年
- ◆ 監査役任期4年
- ⇒監査役は3人以上、その半数が社外監査役で構成

### <移行後>

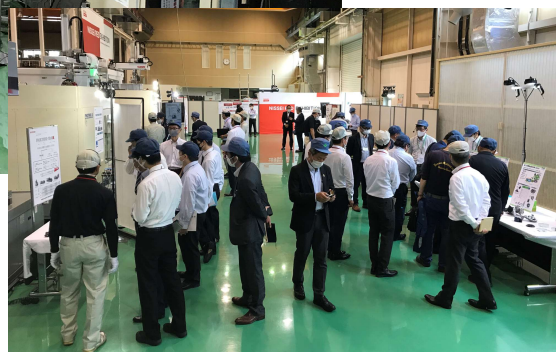
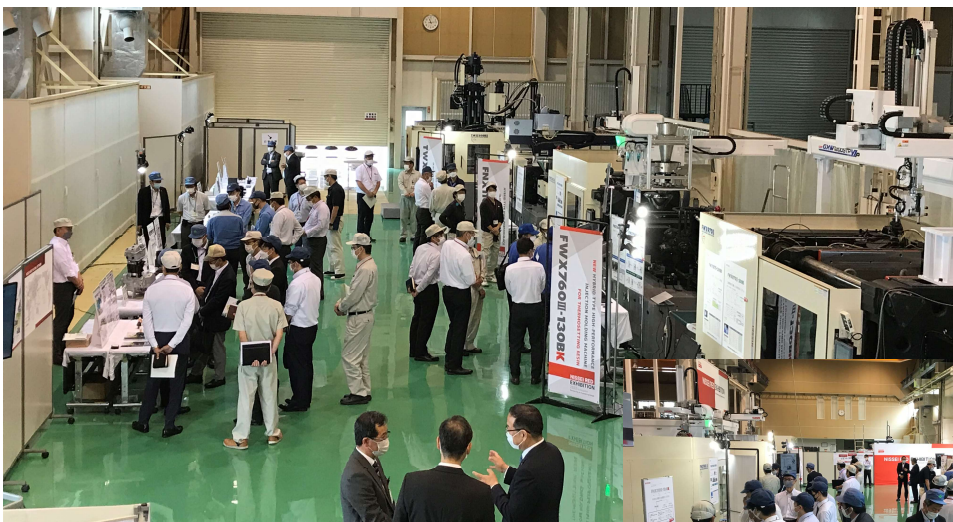
#### 監査等委員会設置会社

- ◆ 取締役任期1年
- ◆ 取締役・監査等委員任期2年
- ⇒委員の過半数が社外取締役で構成

### <移行の目的>

- ✓ **経営の透明性の向上**…監査等委員会が、業務執行の適法性、妥当性の監査・監督を担うことでより透明性の高い経営を実現し、国内外のステークホルダーの期待により的確に応える体制の構築を目指します。
- ✓ **意思決定の迅速化**…取締役会の業務執行決定権限を取締役に委任することにより、取締役会の適切な監督のもとで経営の意思決定および執行のさらなる迅速化が可能となります。

**NISSEI RED EXHIBITION in Nagano2022” EVシフトが進む** **2022.6.7-6.9**  
**自動車業界をメインターゲットとし、車載部品の樹脂化・軽量化ニーズ(金属代替等)への用途提案・開拓のため熱硬化性樹脂成形に特化したプライベートフェアを開催。**  
**また、初の試みとして、熱硬化性樹脂メーカーの住友ベークライトとの共同開催を実施しました。**



新ハイブリッド式高性能射出成形機  
**FWX760Ⅲ-130BK**

#熱硬化性専用  
#大型・長繊維化対応  
#ダウンサイジング  
#2つの射出コンプレッ  
ション技術



新ハイブリッド式高性能射出成形機  
**FNX110Ⅲ-18AK**

#熱硬化性専用  
#インサート成形  
#多彩な熱硬化性  
樹脂への対応



# 日精樹脂工業株式會社

---

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

---